

大篠支所管内より

かけがえのない大切な家族

川久保 知恵さん(72)

結婚を機に女性部に加入し、大篠支部で活動してきた知恵さん。5年程前から活動の幅を広げ、支部の会計を担当するなど運営面でも支えています。月1回開かれる『大篠こども食堂』では、運営等の苦勞を感じながらも「とても充実している」と話します。地域になくはない子ども食堂は、知恵さんやメンバーにとっても居心地の良い場所となっています。

フレイルサポーターやヘルスマイトなど、これまで興味があった分野にも積極的に参入し、刺激をもらっている知恵さん。温かく見守ってくれる旦那さんへの感謝の気持ちは忘れません。地域住民や部員とのつながりを大切に、「これからも今のままで、できる限り活動を続けていきたい」と笑顔で話します。

大川支所管内より

惜しみない愛情を注いでいます

飼い主：佐竹 正光さん

ペット：あかちゃん(3)

3年程前に土佐山田からもらってきて迎え入れた柴犬のあかちゃん。毛の色が赤いことからネーミングしました。人懐っこい性格で普段は吠えることはありませんが、車が通ると吠えて知らせるなど番犬の役割も果たしてくれています。

昼間は自宅下の倉庫、夕方からは家の中で過ごしているあかちゃん。家が好きて、一度室内に入ると外には出たがりません。お腹がすくと、「ごはんちょうだい」と言わんばかりに手招きでアピールをするそうです。

飼い主の正光さんは、子どもの頃から犬を飼っており「犬のいない生活は寂しい」と話します。良き話し相手であり、友だちのような存在のあかちゃんを「精一杯可愛がっていききたい」と、惜しみない愛情を注いでいます。

十市支所管内より

充実したセカンドライフ!

井上 嘉彦さん(71)

(右) のどかちゃん(8)

(左) ももかちゃん(5)

高校卒業後から44年間勤めた会社を定年退職し、9年程前から生まれ育った故郷で第二の人生をスタートした嘉彦さん。勤めている時は単身赴任の期間も長く、退職してからは家族と過ごす時間を大切にしています。

写真に写るのどかちゃんと、ももかちゃんは嘉彦さんのお孫さんで、春から十市小学校に通います。離れて暮らしていましたが、「成長を近くで見守れるのは嬉しい」と心待ちにしています。

「地域に貢献したい」との思いから退職後、高知短期大学に入学。2年間勉学に励み、様々な世代の方と交流を深めた嘉彦さん。趣味のゴルフのほか、野菜や果樹の栽培も手掛けており「仲間や家族とのつながりを大切にしながら健康第一で楽しく過ごしたい」と笑顔で話します。



ピカピカの1年生♪

野村 佳澄ちゃん(6)

父：光広さん 母：史織さん

お絵描きや制作、ブランコ、ダンスなど、好きなことがたくさんある佳澄ちゃんは、春からの小学校生活を楽しみにしています。新聞紙や広告でバックやノートを作り、学校ごっこを楽しんでいます。ピカピカのランドセルには、筆箱や下敷きなどの文房具を準備。「勉強をするのが楽しみ!」と、入学を心待ちにしています。

お洒落が大好きで元気いっぱい佳澄ちゃん。取材の日も自分でコーディネートした服で撮影し、楽しい話をたくさん聞かせてくれました。

将来の夢は、ケーキ屋さんと素敵なママ。いちごがいっぱいの美味しいケーキを作りたいそうです。ご両親は「たくさんの友だちに囲まれて、今のまま素直で明るく育てほしい」と温かく見守っています。

できる範囲でコトコト!

和田 倫武さん(68)

和田倫武さんは、大川村井野川の標高900mに位置する約20アールのハウスで、ほうれん草を中心にペンリ菜や大根、約10アールでお茶も栽培しています。収穫した野菜は、JAやAコープとさ、村の駅結の里、大川村の給食センターに出荷。摘み取った茶葉は、大川村特産の玉茶に加工しています。

ももとは、林業に従事していた倫武さん。体調を崩し不安に思っていたところ、知り合いに「やってみないか」と、誘われ農業の道へ。32歳で就農し、失敗と反省を繰り返しながら、懸命に農業に励んできました。

「最初は手探り状態だった」と振り返る倫武さん。「いつまでできるかわかりませんが、自分でできる範囲でコトコトやっていきたい」と意気込みます。

三和支所管内より



大川支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



活発な意見が出た対話集会

1 土長地区管内 JA女性部・青壮年部と 役職員との対話集会

土長地区管内のJA女性部と青壮年部は1月、JA役職員との対話集会を開きました。16日に開催した南国市地区の対話集会には、役員11人と青壮年部役員、JA役職員ら18人が参加。支所再編後の女性部のあり方などについて協議しました。

各支部からは、令和6年3月に実施される支所再編に伴い、活動拠点や組織のあり方についての不安の声が多く聞かれ、JA役職員らは質問や要望一つ一つに丁寧に回答。これまでの活動と併せて、新しいカタチの

翌17日には、れいほく地区の対話集会が開かれ、役員10人と青壮年部役員、JA役職員ら8人が参加し、「れいほく地域を活性化させる為にどうしたらいいか」をテーマに意見を出し合いました。参加者は、コロナ禍における支部活動の実態に触れ、課題や活性化に向けた具体的な取り組みについて協議し、全体で共有しました。

活動も展開していくことで更なる女性組織の発展を誓い合いました。



直販所で振舞われた七草がゆと小豆がゆ（風の市で）

2 南国市地域 日頃の感謝と 無病息災を願って

3 れいほく地域 園児が 原木シイタケの駒打ちを体験



駒打ちを体験する園児

JA高知県青壮年部れいほく本部本山支部は1月19日、本山町立本山保育所で原木シイタケの駒打ち体験を開きました。地元で栽培されている農産物について知ってもらおうと毎年開催しているもので、今年で32回目。年長児16人が部員らに教わりながら、金づちを使ってクヌギ、コナラの原木約100本に種駒を打ち込みました。

園児も原木1本を持ち帰り、自宅で育てて収穫を待ちます。順調にいけば、来年秋頃には収穫できるそうです。同支部の島山祐樹副支部長は「体験を通して地元で栽培されている農産物を身近に感じ、後進の育成につながれば嬉しい」と話しました。

4 南国市地域 お祓いで祈願



事業の繁栄と安全を祈願する部員ら

JA高知県南国市園芸部は1月11日、南国中央集出荷場と南国南部集出荷場で新年のお祓いを受けました。事業の繁栄と今年1年の園芸品出荷の無事を祈願することを目的に、新年を迎えたこの時期に毎年実施されている恒例の行事です。

今年も各出荷場に園芸部役員やJA役職員ら約16人が参列し、神事によるお祓いが執り行われました。参列者は、宮司の祝詞奏上の後、神前に玉串を奉納。1年間事故なく園芸品の売り上げが向上するように全員で祈願し、一層の飛躍を誓いました。

5 れいほく地域 高知県GAP 第三者確認制度登録



確認証の交付を受けたれいほく園芸部

JA高知県れいほく園芸部が取り組む「高知県GAP第三者確認制度」の現地調査が、11月29日に行われ、翌月24日に団体登録が更新されました。昨年に引き続き、シントウ・カラーピーマン・米ナス・土佐甘とう・ミニトマトの5部会で、91戸が登録を受けました。

同制度は、生産や出荷、管理、農作業安全等を約70項目の高知県版GAPに従って、自ら確認しながら実践。生産者一人一人の圃場を点検した後、県が年一回実施する現地調査を受けて登録となります。窪内勉園芸部長は、「今後もGAPに取り組むことで、安心安全な農業を実践していきたい。」と力強く話しました。

6 南国市地域 中央シントウ部会 視察勉強会



栽培圃場を視察する参加者

南国市園芸部中央シントウ部会は1月19日、同市で令和5年度視察勉強会を開き、「非辛みシントウ」の圃場を視察しました。勉強会には、部会員7人の他、管内のシントウ生産者やJA職員ら7人が参加。南国市で試験栽培している農業技術センターと山本修平さんの栽培圃場を訪れ、情報交換を行いました。

非辛みシントウは、同センターが10年かけて開発した新品種のシントウ。辛み成分がないため、子どもでも安心して食べられると注目されています。同部会の都築廣和部会長は、「栽培や管理など部会全体で共有し、普及に努めていきたい」と話しました。

えいのう〜

役立つ! 得する! 情報

れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 0887-82-2803

害虫対策のポイントについて

れいほく管内は、夏秋作の定植時期を迎えました。

ここでは、害虫対策のポイントをおさらいします。栽培初期から害虫対策をしっかり行い、作中の害虫被害を抑えましょう。

Step1

- 定植時には植穴、株元に殺虫剤を散布し栽培初期の発生を防ぎましょう。効果の持続期間が長く、省力的に害虫防除ができます。

Step2

- バンカープランツを定植し、天敵放飼の準備をしましょう。天敵を放飼する前に、バンカープランツを定植し、天敵の早期定着を促します。(タバコカスミカメ→クレオメ、バーベナ)

Step3

- 天敵放飼前に、1度殺虫剤を散布し害虫の発生密度をできるかぎり下げおきましょう。防除暦で天敵への影響期間を確認し、薬剤を選択しましょう。

Step4

- 天敵を放飼しましょう。放飼後の防除は、天敵に影響の少ない薬剤を使用しましょう。

<農薬を散布しても害虫が減らない理由>

- 薬物抵抗性の発達**
同一系統の農薬の連用により、害虫の抵抗性が発達します。防除暦のRACコードを確認し、ローテーション散布を行いましょう。
- 農薬の散布ムラ・薬量不足**
害虫に直接触れなければ効果が無い農薬が多いです。葉の裏までしっかりと散布しましょう。
- 圃場周辺部からの飛込み**
農薬散布により、ほ場内の害虫が死滅してもハウス外からの飛び込みが多ければ、害虫の密度は低下しません。防虫ネットの展張、ハウス周りの除草を行いましょう。

上記の点に注意しつつ、天敵を有効活用することで、労力の軽減や農薬の削減、また環境への負荷を軽減した農業生産を目指しましょう。

GAP 掲示板 vol.34 れいほく地域

育苗中の防除記録の保管

育苗中に使用した農薬も使用記録が必要です。苗を購入した場合は、購入先から防除記録を入手し、保管するとともに記録簿に記入しましょう。

南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課

0881-86312415

施設野菜の腐敗事故対策について



南国営農経済センター 営農指導課 小松寛明

春になると、日照時間が長くなりハウスの温度湿度が上昇します。このことにより腐敗果を引き起こす原因となるリゾプス菌が発生しやすくなります。

◆腐敗果の特徴

収穫後の果実に発生します。果柄の切り口から水浸状に腐敗し、その後、がく・果肉の順に腐敗しますが、果皮は腐敗しません。表面はクモの巣状のカビに覆われ、そこに多数の黒粉を生じます。

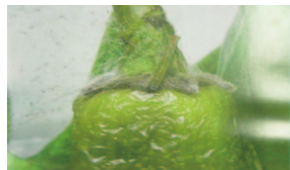
◆病原菌(リゾプス菌)の特徴

糸状菌の一種で接合菌類に属します。生育適温は20〜30℃で、最適温度は25℃前後です。腐生性が強く、圃場内の植物残さなどで増殖し、そこに生じた胞子の飛散によって果柄の切り口から感染・発病します。発病適温は25〜30℃、湿度100%で発病しやすく、春先の降雨後収穫した果実での発生が多く見られます。病状の進展がきわめて早いため、発病したものの治癒は困難です。植物体は軟弱徒長を避け、果実やイモは表面を傷つけないとともに、ヘタや皮目

などからも侵入するので、発病したものは早期に除去することが必要です。

◆対策

- ・ 整枝・摘葉により、通気性・採光を確保しましょう。
- ・ 収穫後の果実は、直ちにハウス外の日陰に出して果柄を乾かしましょう。
- ・ 多湿状態をつくらないために換気を積極的にを行い、過灌水に注意しましょう。
- ・ 摘果した不良果・整枝屑の枝葉・おやつ・果皮等は、菌の温床になるのでこまめに圃場外に持ち出すようにしましょう。
- ・ 爪探りをしないように丁寧に収穫をしましょう。
- ・ 普段から樹勢を弱らせないよう、にしましょう。
- ・ 夕方からの閉めこみ後の温度上昇に注意しましょう。



リゾプス菌におかされたシシトウの果

トンネルオクラの換気について

◆換気のポイント

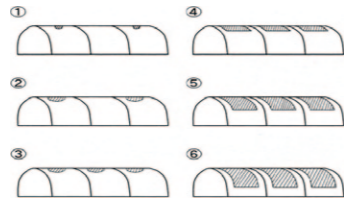
オクラの生育適温は25℃〜30℃とされます。一方でトンネル内の温度はそれを大きく上回る事があります。高温状態が長いと、軟弱徒長や着花遅れの原因となるので、換気を遅れさせないよう注意しましょう。

換気開始のタイミングは本葉が1.5枚程度、もしくは寒の戻りの心配がなくなつた頃を目安に行います。換気を行う時は少しずつ行います。天候を見ながら、3〜5日間隔を目安に換気穴を大きくし、徐々に外気に慣らしてください。

生育のムラ等で播き直した場合は、生育の良いところから穴を開けるようにします。また、はじめから大きな穴を開けてしまうと、急激な乾燥によって、葉が脱水症状になってしまいが、枯れ落ちてしまうことがありますので注意しましょう。

◆トンネル換気の手法(例)

- ① ダンボールの間隔をつまはしに直径8〜12cm程度の穴を開けます。
- ② 換気穴を直径15〜20cm程度に大きくします。
- ③ すべての間隔に直径15〜20cm程度の穴を開けます。
- ④ 徐々に穴を大きくしていきます。トンネル内が高温になるようであれば、両サイドを開放し、風通しを良くします。
- ⑤ 換気穴は風が直接あたると避けるため、オクラの葉より下にならないようにします。
- ⑥ サイドを残すと畦際に生える雑草に除草剤を散布しやすくなります。



◆トンネルの除去について

オクラを外気に慣らしながら、5月上旬の風の強い日に行ってください。強い風により、株が倒伏する恐れがありますので注意してください。



南国営農経済センター 営農指導課 東山司

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

食へることが大好きなので、コチットのイチオシを参考に食へに行きたいです。

(十市支所・64歳)

▼知らなかった飲食店も多くて、どこに行こうかと考えるとわくわくしますね。毎月、いろいろな飲食店を紹介しているの、ぜひ足を運んでみてください。感想もお待ちしています。

今年の春から大学生です。農業について学びます。就農人口減の中でデジタル化を促進し、若者が就農したいと思える高知の農業を作りたいと思います。

(れいほく支所・17歳)

▼県内の農業は、植物の見える化を進めるIOPプロジェクトに力を入れています。近い将来、スマートフォンで栽培から出荷までの管理が行えるようなスマート農業の構築に向けて高知の農業を盛り上げていってほしいと思います。プロジェクトに挑戦し、プレゼントをゲットしようと張り切っています。当たりますように！

(岡豊支所・73歳)

▼ぜひ、クロスワードパズルを完成させて、応募してください！お待ちしております。お待ちしております！

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールがあることを初めて知りました。「お米も子どもも大きく育て!!」をはじめ、作文も素敵で元気をいただきました。

(長岡支所・35歳)

▼子どもたちの素直な気持ちで表現された絵や作文、どれも素晴らしかったですね。真つすぐな思いに食の大切さについて考えさせられました。

コチットのイチオシに紹介されていた「ながお温泉」の美味館にぜひ、行ってみたいです。

(本山支所・59歳)

▼美味館では、本場の台湾料理を味わうことができます！ぜひ行ってみてください！メニューも豊富なので、お気に入りの一品に出会えると思います。温泉にも浸かって、リフレッシュしてください。

それぞれの地区の人間模様が見えるように興味をそそられます。早く『まぐり』が届かないかと、いつも首を長くして待っています。

(久礼田支所・61歳)

▼毎月ありがとうございます。おかげ様で『まぐり』も創刊50号を迎えることができました。これからも地域に密着した内容を発信し、皆さんに楽しんでいただける広報誌を目指して取り組んでいきます。今後ともよろしく願っています。

イラスト紹介



(日章支所・82歳)

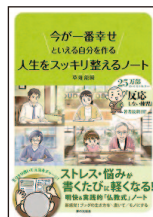
家の光協会 新刊図書のご案内



●『南極の食卓』
女性料理人が極地の地でつけた暮らしの知恵』
渡貫淳子 著
定価：1,650円（税込）
料理の仕事から離れた女性が南極調理隊員に挑戦！1年分の食材を仕入れ、ごみを出さない。通常ではない状況でどんな料理を作るのか。制限された環境だからこそ生まれた工夫や暮らしの楽しみ方を綴る。



●『旅するキッチン』
異国で出会った道具とレシピ』
口尾 麻美 著
定価：1,980円（税込）
料理家でフォトエッセイストの著者が、14の国と地域で出会ったかわいくて珍しいキッチン道具を紹介。道具を通して、その土地の暮らしや歴史・文化が見えてくる。おうちで楽しめる世界の料理19品も掲載！



●『今が一番幸せといえる自分を作る 人生をスッキリ整えるノート』
草薙龍瞬 著
定価：1,320円（税込）
人間関係や将来の不安など、様々な悩みを抱える人に。ブッダの教えの真髄でもある「反応しない」技術を身に付ければ、何が起きても悩まない。このノートを使って、日常的に書くことで、もっと楽しく生きられる。



●『ごみを出さない気持ちのいい暮らし』
高砂雅美、中村野野、山戸ユカ、
按田優子、西村千恵、綿貫淳子 著
定価：1,650円（税込）
昨年、第64次南極地域観測隊が日本を出発し、現地さまざまな調査を行っています。今回の観測隊は、フジテレビ取材班（南極プロジェクト〜地球のミライ〜）からガチャピンが同行するなど、メディアで取り上げられる機会も多く、注目が集まっています。
南極で発生するごみは、条約ですべて持ち帰ることが決まっているようで、焼却炉でごみを焼却したあとは、ドラム缶に詰めて持ち帰るのだそう。人より環境を優先する南極の生活、目が離せません。

ご注文はお近くの支所または、南国営農経済センター組合員課までお願いいたします。(TEL：088-863-2416)